

令和5年度「南区基本計画推進部会」第1回会議 議事録

日 時：令和5年4月17日（月）午前9時30分～午前11時

場 所：南区役所第2会議室

出席者：

氏 名	所 属	備 考
天野 広一	唐橋学区自治連合会、南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会、南少年補導委員会、南民生児童委員会会長	部会長
田中 一明	九条学区自治連合会、南区社会福祉協議会	
尾崎 嘉彦	京都市立開建高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表、大藪小学校 PTA 会長	
井實 嘉月	市民公募委員	

1 開 会

2 挨拶

部会長 天野 広一
南区長 並川 哲男

3 議 題

- (1) 令和4年度の取組実績（報告）
- (2) 令和5年度の事業計画（案）

天野部会長

南まちなかアートについて、昨年度小牧さんはワークショップで講師を務められたが、芸大などとの新しい繋がりがあったか。

小牧委員

現時点ではないが、今後も南区役所と協力していく中で、新たな繋がりを期待している。

天野部会長

取組に協力できる高校生は南区にたくさんいると考える。

小牧委員

様々なことに興味・関心を持つ高校生を支えられるよう、若い人たちの活躍の場が広がるよう今後も協力していきたい。

天野部会長

転入者は増えていても自治会に入ってもらえない人も多く、市民しんぶんの配布以外で関わりがないことも多々ある。

横江委員

子ども向けに事業を展開していくとあるが、「子ども」が小学生に限定されているように感じる。市立芸大の移転により、今後南区に住む大学生もいるのではないか。また、社会人1・2年目の若い人は南区に住みたいという声も聞く。唐橋に開建高校が移転することで若者の動き変わるのではないか。今後、中高生をどう巻き込むか、若い世代が住み続けられる施策があればよい。南青少年活動センターでは、南区社会福祉協議会がヘルスピア21の跡地に移転してくることを契機に、世代を超え、お年寄りと若者が交流する機会を増やしていきたいと考えている。ぜひ若い世代にフォーカスしてほしい。

尾崎委員

今年度、ふれあいまつりが西寺公園で開催されるとのことで、ぜひ開建高校生も関わらせてもらいたい。文化活動の推進の項目にある「六斎念仏体験会」についても支援していきたい。開建高校では、学校の外にどんどん出て学んでいこうという方針であり、区内にある企業にも受け入れていただいている。

天野部会長

中小企業家同友会の会員企業には、中学生も様々な機会を通じて受け入れていただきありがたい。

山田委員

参加者が少ないイベントがある。区内の人口が何万人といる中で、限定的になってしまっている。たくさんの人に参加してもらえるような工夫は必要だと感じる。また、若者が活躍すると、地域としても活性化していくと思うので、活躍の場をどんどん作っていけるようにしてほしい。同友会南支部としても会員が増えており、地域に根ざした活動をしていこうという体制も整っているので、継続的に協力していきたい。

天野部会長

力強い言葉をいただいた。住民に南区民という意識をさらに持ってもらうには、どのようにしたらよいか。

田中委員

先ほど小学生・中学生の話が出ていたが、九条学区は子どもたちが減っている。地域としては災害時において防災活動のなり手不足が課題であり、若者とも一緒に防災訓練などができたらよい。また高齢者でもできることもあり、例えば、小学生に手芸を教えるなど、主役になれることもあるのではないか。4年度の報告にもあったような、南区で行っている事業をさらに多くの方に知ってもらうべきであり、区役所だけでなく自治連合会も周知の協力など一緒にしていくべきである。

井實委員

自分が子どもの頃を振り返ると、学校などで得た情報は帰って親に伝えていた。南区での取組の周知を直接子どもたちに行うことで、親も取組を知ることができる。フォトコンテスト等も高校生に直接呼びかけてみてはどうかと考える。

天野部会長

井實さんより、親という言葉が出て来た。最近は共働きなことも多いが、休みの日だけでも地域活動に参加してもらえるといい。最近のPTAの活動はどうか。

小牧委員

これまではコロナで中止していたことも多かったが、これからどんどん動き出すのだろうなという印象を持っている。

天野部会長

コロナの間に、必要なものと不必要なものが見えてきた。今後も残さないといけないものは残していくなど取捨選択すべきである。

4 閉 会